

SUZUKI GSX-R1100G-J / GSX-R750F-H 機械曲サイクロン

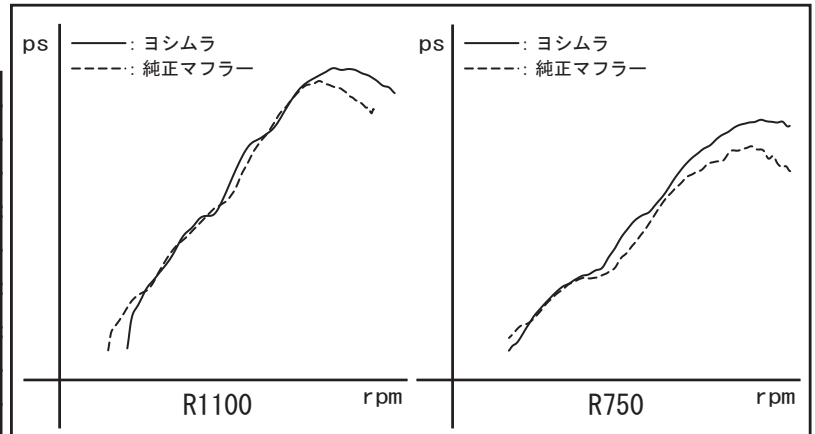
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業は適切な資格、知識を有する人が行って下さい。
- 車両を取り扱う際は、適切な服装にて行って下さい。
- 作業中はグローブ等を着用し、製品のエッジ部に注意して行って下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

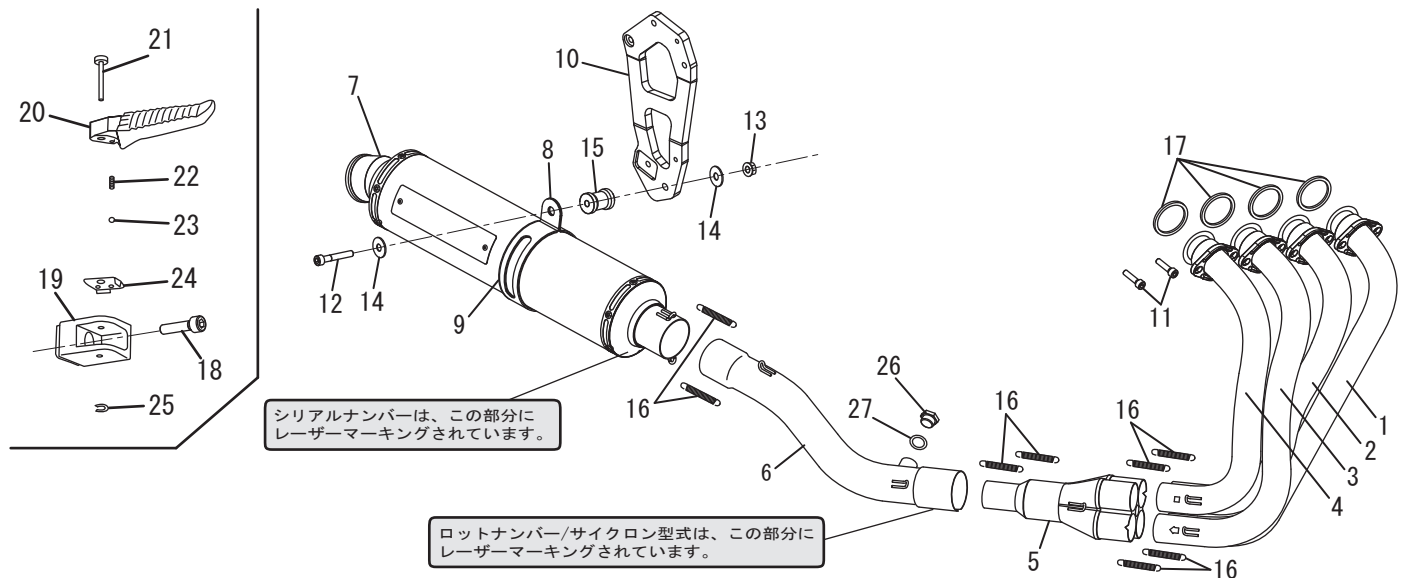
1. 適応車種及び諸元表

車名	SUZUKI GSX-R1100G- J / GSX-R750F- H	
車両型式	GU74A (R1100) / GR71F (R750)	
エンジン型式	U703 (R1100) / R705 (R750)	
認証番号	00139350	
サイクロン型式	S511SCI11A	
素材	SUS304	
品番	ステンレスサイレンサー	: 110-511-5251
重量	純正マフラー (R1100)	: 11.5 kg
	純正マフラー (R750)	: 8.3 kg
	ステンレスサイレンサー	: 6.7 kg



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
無	可能	可能	無	ヨシムラ製	必要	可能



NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ#1	1	181-511-5200	16	マフラスプリング (ロング)	8	118-000-1000
2	エキゾーストパイプ#2	1	182-511-5200	17	エキゾーストガスケット#446	4	129-446-1000
3	エキゾーストパイプ#3	1	183-511-5200	18	キャップボルトM8×20	1	800-208-5020
4	エキゾーストパイプ#4	1	184-511-5200	19	タンデムステップホルダーR	1	116-584-1100
5	集合部	1	119-514-5002	20	ステップバーR	1	553-502-1001
6	テールパイプ	1	115-511-5200	21	ステップ用ピン	1	553-502-0002
7	サイレンサー (ステンレスカバー)	1	139-511-5251	22	ステップ用スプリング	1	553-502-0003
8	サイレンサーバンド	1	162-43R-1059	23	ステップ用ボール	1	553-502-0004
9	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-003-0536	24	ステップ用プレート	1	553-502-1005
10	タンデムステッププレートR	1	161-511-0210	25	ステップ用Eリング	1	553-502-0006
11	キャップボルトM8×25	8	800-208-5025	26	ブラインドプラグ	1	862-118-1500
12	キャップボルトM8×70	1	800-208-5070	27	銅ワッシャ	1	812-318-0000
13	フランジナットM8	1	823-008-1250	※	スプリングインナーチューブ	2	118-000-1100
14	平ワッシャM8×26	2	812-108-2600	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
15	スペーサーカラー8-26-40段付	1	850-008-26A0				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. SET 内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、フレーム等を損傷しないように注意して、アンダーカウル、サイドカウル左右、右側シートカウル、純正マフラー、右側タンデムステップを取り外して下さい。
(FIG. 1 参照)
3. ⑩マフラスプリングのうち、2本にスプリングインナーチューブを入れて下さい。組み立てたスプリングは、テールパイプとサイレンサーを留める際に使用します。
(FIG. 2 参照)

参考

- ・スプリングに入れた状態では、インナーチューブが多少はみ出しますが、マフラーに装着した状態でスプリングが伸びて隠れますので問題ありません。
- ・インナーチューブを入れるとき、チューブを回転させると入れ易くなります。

※手順4、5はタンデムステップの組み立て方です。
組み立てた状態で出荷していますので、分解した際に参照して下さい。

4. ⑩タンデムステッププレートRに、⑮キャップボルトM8×20を使用して⑲タンデムステップホルダーRを規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 3 参照)

△注意 規定トルク タンデムステップホルダーR : 23 Nm

5. FIG. 4を参照し、⑲タンデムステップホルダーRに、⑳ステップバーRを取り付けて下さい。
(FIG. 4 参照)

6. ⑩タンデムステッププレートRを純正ボルトを使用して車両の右側タンデムステップ取り付け位置に規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 5 参照)

△注意 規定トルク サイレンサーステー : 10 Nm

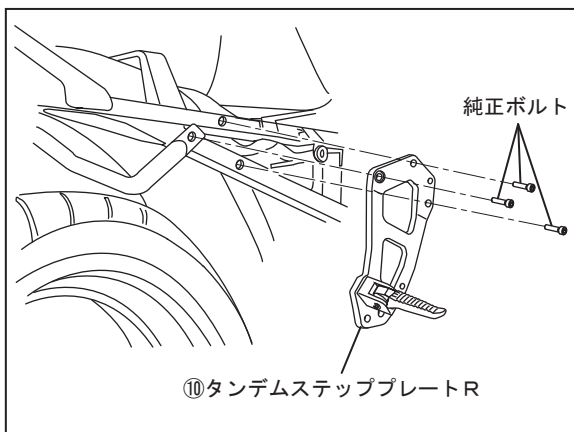


FIG. 5



FIG. 1

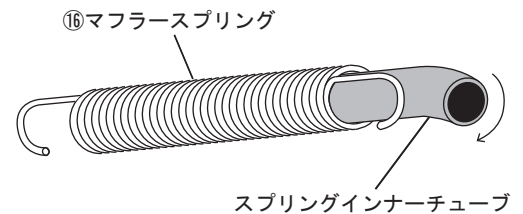


FIG. 2

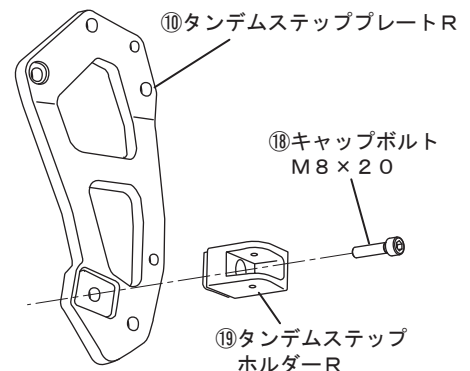


FIG. 3

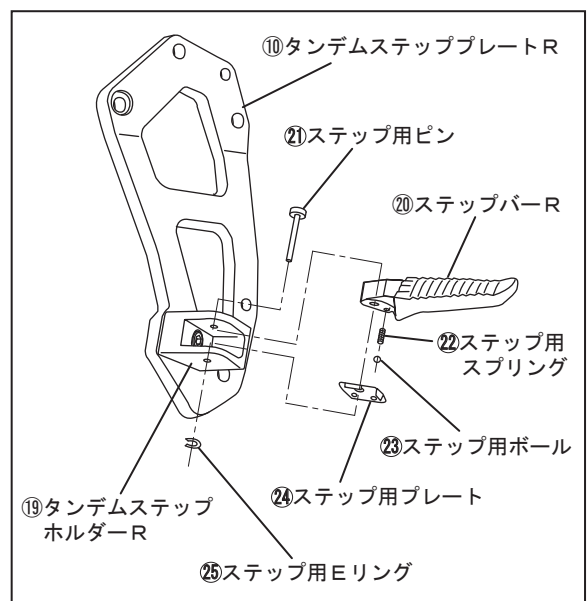


FIG. 4

7. ⑤集合部の認識ラベルの番号に合わせてエキゾーストパイプ①#1～④#4を差し込み、各パイプの間隔をエンジンの排気ポートの間隔に合う様に調整して下さい。次に、スプリング取付工具を使用して⑬マフラスプリングを4ヶ所取り付けして下さい。（FIG. 6 参照）

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）

8. ⑤集合部の識別ラベルをはがして、良く脱脂して下さい。

⚠注意 識別ラベルはエキゾーストパイプ取り付け後、暖気運転前に必ず剥して下さい。
ラベルを貼ったままエンジンを始動しますと、集合部に焼き付いて色ムラとなって残ってしまいます。

9. エンジンの排気ポート部に取り付けられているガasketを外し、⑬エキゾーストガasket #446 に交換して下さい。

10. 手順7で組み立てたエキゾーストパイプをエンジンの排気ポート部に取り付け、⑪キャップボルトM8×25を使用して仮締めして下さい。（FIG. 7, 8 参照）

11. ⑤集合部に⑥テールパイプの切り欠きを合せる様に取り付け、⑬マフラスプリングを取り付けて下さい。（FIG. 9 参照）

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）

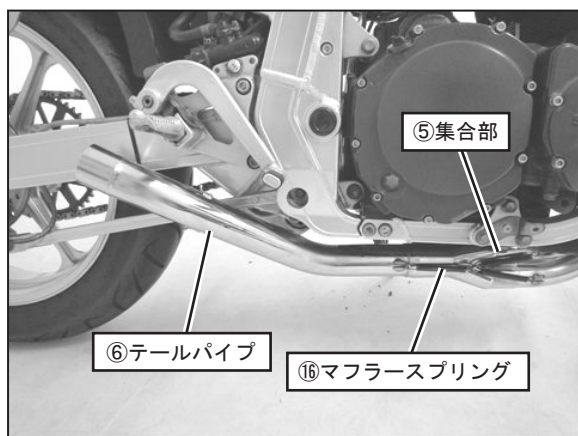


FIG. 9

12. ⑥テールパイプに⑦サイレンサーを取り付け、インナーチューブ入りの⑬マフラスプリングを取り付けて下さい。（FIG. 10 参照）

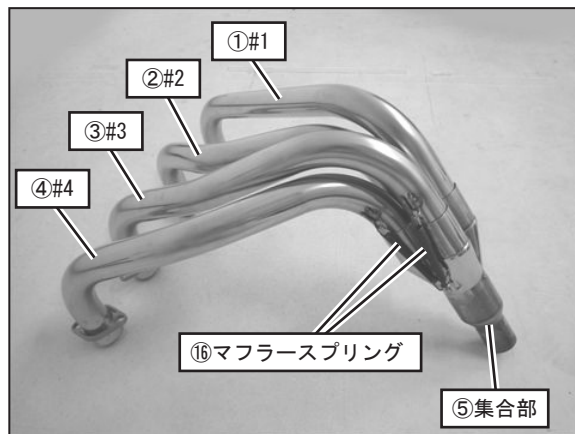


FIG. 6

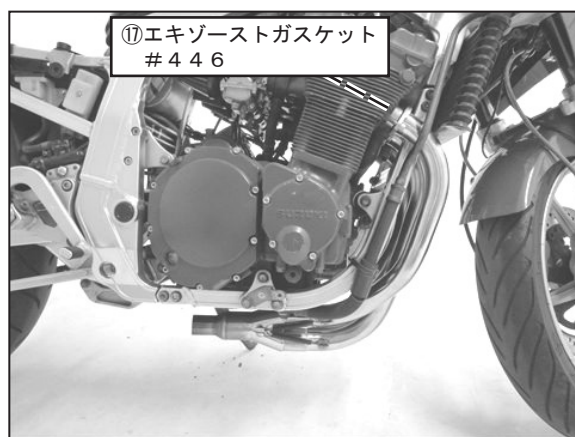


FIG. 7



FIG. 8

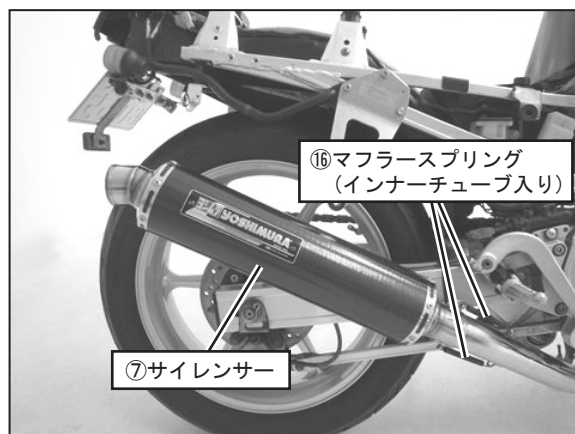


FIG. 10

13. ⑧サイレンサーバンドに⑨サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けてから⑦サイレンサーに通し、⑫キャップボルトM8×70、⑭平ワッシャM8×26、⑮スペーサーカラー8-26-40段付、⑬フランジナットM8を使用して⑩タンデムステッププレートRに仮締めして下さい。
(FIG. 11, 12参照)

△注意 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けて下さい。
※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けると、バンドやサイレンサーが破損する恐れがあります。
※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。



FIG. 11

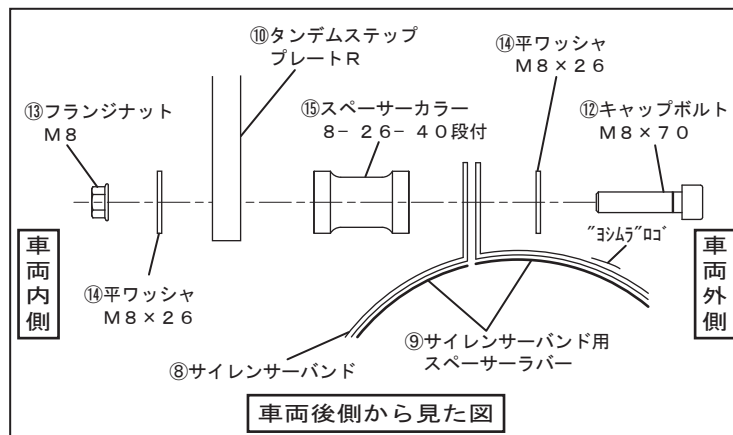


FIG. 12

14. ⑥テールパイプのセンサーボスに②⑥ブラインドプラグ、又は社外品A/Fセンサー(M18)を取り付けます。

④センサーを使用しない場合

センサーボスに②⑦銅ワッシャ、②⑥ブラインドプラグを取り付けて下さい。

⑤社外品A/Fセンサー(M18)を使用する場合

センサーボスにA/Fセンサーを取り付けて下さい。
(FIG. 13参照)

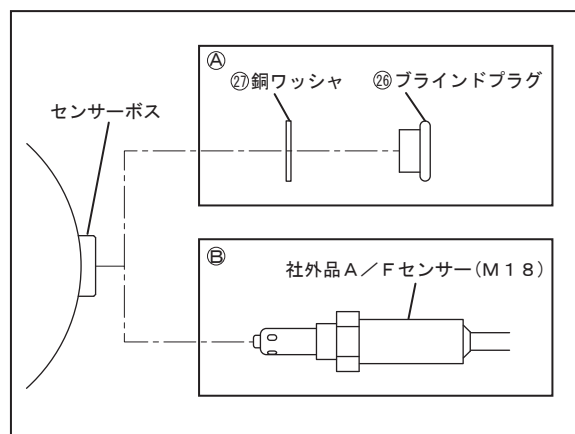


FIG. 13

15. マフラーと車両とのクリアランスを確認しながら、エキゾーストパイプ→サイレンサーバンドの順に、仮締めしたボルト・ナットを規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 14参照)

△注意 規定トルク エキゾーストパイプ : 12 Nm
サイレンサーバンド : 23 Nm

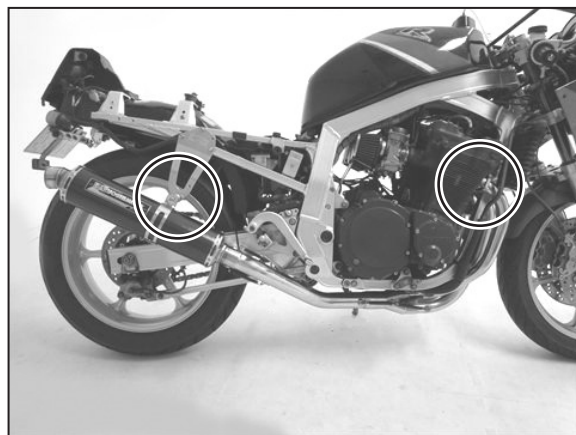


FIG. 14

16. マフラーと車両各部が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合は締め付けたボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。
(FIG. 15参照)

17. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまふことがあります。

△注意 ※エンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。

18. エンジンを始動して排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

19. マフラーとアンダーカウルとの干渉を防ぐ為、アンダーカウルを加工する必要があります。

GSX-R1100G/H/Jの場合、アンダーカウル後ろのカウルステーを取り外して下さい。又、車両によっては右側アンダーカウル後部が干渉する可能性がある為、必要に応じてFIG. 16の斜線部をグラインダー等で削って下さい。(FIG. 16参照)

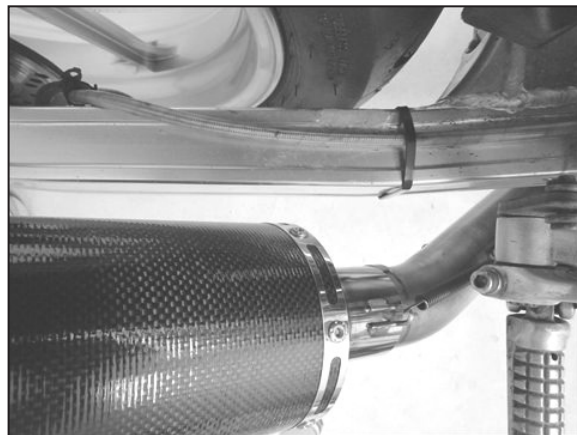


FIG. 15

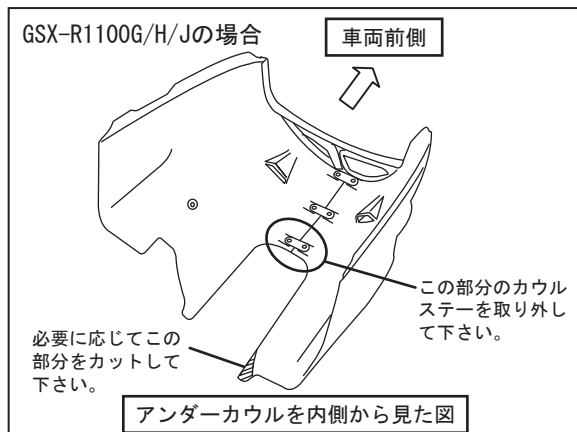


FIG. 16

GSX-R750G/Hの場合、FIG. 17を参照し、アンダーカウルの斜線部をグラインダー等で削って下さい。(FIG. 17参照)

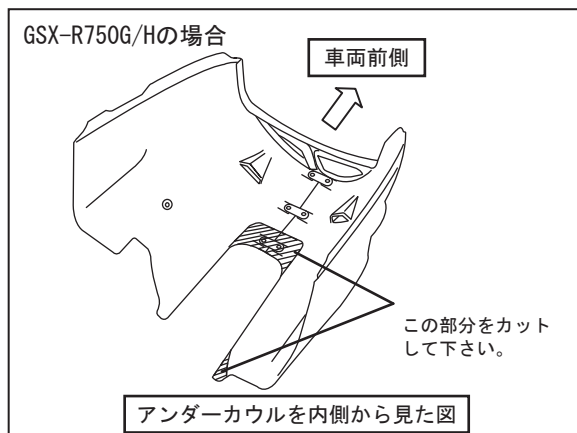


FIG. 17

GSX-R750Fの場合、FIG. 18を参照し、車両前側のカウルステーを外してからアンダーカウルの斜線部をグラインダー等で削って下さい。次に、FIG. 19を参照してアンダーカウルに穴を開け、カウルステーを写真の位置に取り付けて下さい。(FIG. 18, 19参照)

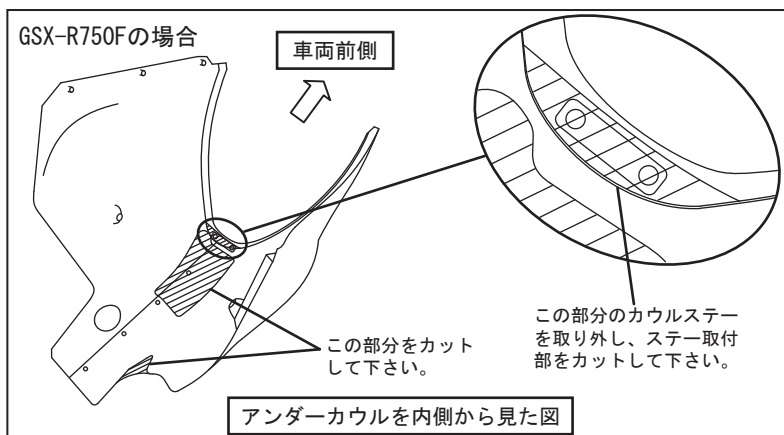


FIG. 18

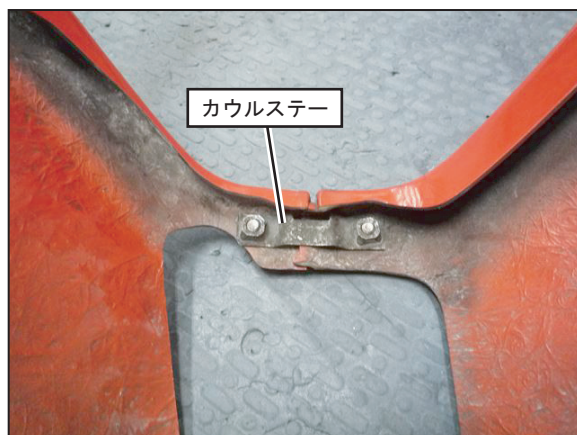


FIG. 19

20. 取り外したカウル、シートを元に戻して下さい。



SUZUKI GSX-R1100G-J / GSX-R750F-H 機械曲サイクロン

⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのマフラーホットラインまでご連絡下さい。

⚠危険

- ※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠注意

- ※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
- ※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
- ※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

- ※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガasket等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
- ※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。
- ※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
- ※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

- ※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
- ※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
- ※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
- ※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



●「政府認証マフラー」について

- ※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
- ※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内 ▶



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

